

「粘り強い野球できた」

明治神宮大会V 光星、八戸市長を訪問

明治神宮野球大会で
県勢初優勝を果たした
光星学院高校ナインが
29日、八戸市庁に小林
眞市長を訪れ、報告し
た。田村龍弘主将(2
年)は「自分たちの粘
り強い野球ができた。
来春のセンバツにも出
場できる可能性が高い
ので、一から練習し、
頂点を目指して頑張
る」と力強く語った。
訪れたのは、橋場保
人副校長、仲井宗基監
督、小坂貫志部長、田



明治神宮大会で優勝した光星学院野球部メンバーの栄誉をたたえる小林市長(右)=29日午前

村主将らメンバー18人
北地方に明るいニュー
の計21人。仲井監督が
「震災で爪痕の残る東
でき、うれしい。足元

から見つめ直し、皆さ
んから愛され、心から
応援してもらえるチー
ムにしていきたい」と
語った。
小林市長は「市民の
みならず、県民が快挙
を喜んでる。東北地
方で、(東日本大震災
からの)復旧のために
さまざまの方が一生懸
命に(作業を)やって
います。そういう方た
ちにも勇気を与えるこ
とができた」と述べた。
金沢湧紀投手(2年)
は「最後まで投げ抜く
ことができたが、大会
を通じて課題が見え
た。冬の間にフォーム
を固めていきたい」、
主砲・北條史也選手
(2年)は「大会では
バッティングの調子が
良かった。センバツで
も調子を維持して打て
るよう頑張りたい」と
語った。(岡田圭逸)